

事務事業名	合併記念祭実施事業					☒ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
施策名	24	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成				所属係	政策企画班	課長名	斎藤正昭
基本事業名	93	伝統文化の継承				担当者名	森山邦彦	電話番号 (内線)	
予算科目	会計 01	款 02	項 01	目 09	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 18 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 平成18年2月27日、旧合志町・西合志町が合併し、新合志市がスタートした。そこで、新市合併を記念して、合併功労者等の表彰、市木・市花の発表等の式典を行うとともに、市民の一体感・連帯感の創出を図るため、祭実行委員会を設置し、事業の円滑かつ適正な運営を行う。 (業務の内容) 実行委員会の事務局として、委員会の開催通知、事業の開催計画、実施に関する事項の審議、決定、その他事業に関する取りまとめ及び予算の執行を行う。 (事業費の内訳) 一般会計予算(委託料14,000千円・・・商工振興課) 実行委員会予算(補助金6,000千円・・・政策推進室)						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							人件費	事業費計 (A)	0
							人件費	正規職員従事人数	
							人件費	延べ業務時間	
							人件費	人件費計 (B)	0
						トータルコスト(A)+(B)		0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

合併を記念し、祭実行委員会を設置して開催計画等について協議した。
2日間盛大に実施し、成功裏に終えることが出来た。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

新たに実行委員会を設置し、開催時期、場所、内容について検討を行う。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

市民が融和を図り、連帯感をもつ。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

継承されている。
後継者として育っている。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 実行委員会開催回数	回
イ 委員会参加者数	人
ウ 開催規模(事業費等)	円

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 来場者数	人
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 後継者のいる団体数と割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			14,000							
			都道府県支出金	千円										
			地方債	千円										
			その他	千円										
			一般財源	千円			6,000	10,000	10,000	10,000	8,000			
			事業費計 (A)	千円	0	0	20,000	10,000	10,000	10,000	8,000			
	人件費	正規職員従事人数		人			5	2	2	1	1			
		延べ業務時間		時間			1,576	700	700	700	700			
		人件費計 (B)		千円	0	0	6,257	2,779	2,779	2,779	2,779			
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	26,257	12,779	12,779	12,779	10,779			
活動指標			アイウ	回 人 円			4 68 134,200	4 80 176,000	4 80 176,000	4 80 176,000	4 80 176,000			
			対象指標			アイウ	人			52,000	53,000	54,000	55,000	56,000
						成果指標			アイウ	人			18,594	20,000
上位成果指標			アイウ	%										
						アイウ								

合志市

事務事業名	合併記念祭実施事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
合併により、市民の連帯感・融和を図るため、祭実行委員会を設置し合併年度内に開催することとした。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
変化は見られない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
実行委員会及び下部団体からは、旧町時代の祭をそれぞれの時期、場所、実施内容で継承していくべきだとの意見がある。
また、合併したのだから統一して一つの祭として実施するべきだとの意見もある。
合併後、厳しい財政状況の中で、予算の範囲内で効果的で効率の良い祭を実施して欲しいとの意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 多くの市民が参加してこそこの祭であるので、政策体系との整合性は取れているし、結果にも結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 実行委員会には、商工会や農業団体、婦人部、消防関係、青年部、各種福祉団体、教育関係等さまざまな人が参画しており、市民の連帯感や融和を図る一翼を担っている。 合併により行う事業であるため妥当であると考え。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図ともに現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 実施により成果が満たされた。事業終了
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事業終了
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) 産業祭、よかとこ祭、福祉祭、スポーツフェア等との統廃合・連携 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業はない
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業終了
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業終了
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 新市の新たな祭の創造ということで対象は全市民であるため公平公正であると考え。

合志市

事務事業名	合併記念祭実施事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)



(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由



(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項